

■ 大手カジュアル専門店の動向 (1)

※敬称略、順不同
2020.1. 現在

[1] コックス

最近決算年商 191.3億円
同営業利益 △13.5億円

(次期予想) 20年2月
売上 190億円
営業利益 1.5億円

店舗数 226店舗
2019年8月

3大業態「IKKA」、「LBC」、「Vence」すべて減収赤字。減収金額全体の内6割が既存店低迷が原因。

- ・「notch」はeコマース専用ブランド、成長軌道に乗る。eコマースは昨対110.7%アップ。
- ・今後は建値を守り値下げロス削減に努力。
- ・社会的課題(SDGs、環境問題、ダイバーシティなど)を親会社イオンと連携して消費者からのロイヤリティ獲得方針。
- ・女性の働き方改革、厚生労働大臣の認定「えるぼし」取得中。

[2] ジーンズメイト

最近決算年商 85.8億円
同営業利益 0.9億円

(次期予想) 20年3月
88.5億円

店舗数 80店舗
2019年8月

半期ベースの営業利益黒字化順調継続中。RIZAP社の子会社化の効果本格化だが20年上期は夏場不振で微減収。

- ・新業態「JEM」(マルチブランドの商品統合店)好調。
- ・インバウンド購買狙いの免税店売り上げ半期4.6億円達成
- ・eコマース「ZOZO」は半期2.4億達成。この両方で半期売上の約18%。
- ・創業60周年キャンペーン実施。

[3] マックハウス

最近決算年商 280.1億円
同営業利益 △12.4億円

(次期予想) 20年2月
売上 256億円
営業利益 △14.9億円

店舗数 381店舗
2019年8月

店舗数減少、在庫処分値下げで減収減益。

- ・大型店舗に「アウトドア・アスレジャーコーナー」を新設。
- ・PB「NAVY」のブランド専用店舗を10月に川崎にオープンした。
- ・大型出店計画は慎重化、むしろ既存店の底上げに重点置く。
次期 出店 8~12店舗 退店30~35店舗
- ・期末381店の内訳
マックハウス351、(スーパーストア、マックハウストアなど含む)
- ・アウトレット系14、ゴールウェイ3、ネイビー1など

[4] ライトオン

最近決算年商 739.6億円
同営業利益 △21.7億円

次期(20年8月)予想
売上 660億
営業利益 6億

店舗数 473店舗
2019年8月

不振の原因は「SC内他社との同質化」がネックと説明。ただしボトムス比率は構成比34.6%と高水準を保つ。

- ・努力により在庫回転は好転中。
- ・今後は「アメカジ」など「ジーンズ系セレクト店」を志向。
- ・次期も不採算店中心に退店促進。
次期出店予定は6店、退店25で19店舗減少。

[5] ファーストリテイリング

(全世界ベース2019年8月)
売上収益(売上)2兆2,900億円
同営業利益 2,524億円

(その内国内ユニクロ実績)
年商 8,729億円
営業利益 1,024億円
国内店舗数 817店
2019年8月

19年8月「全世界ベース」は史上最高の売上と利益達成

内訳 国内ユニクロ 8,729億円 微増
海外ユニクロ 10,260億円 14%UP
GU 2,387億円 13%UP
グローバルブランド 1,498億円

- ・18年、19年末ともに暖冬傾向で国内防寒衣料は不振。
- ・20年8月全社予測としては韓国、香港の世情により
予想では2兆3,400億円程度にとどまるか。

■ 大手カジュアル専門店の動向（2）

※敬称略、順不同

【6】しまむら

最近決算年商 5,459億円
同営業利益 254億円

(次期予想) 20年2月
売上 5,460億円
営業利益 254.5億円

店舗数 2,206店舗
2019年8月

「しまむら」業態は店舗数増加も、客数は前年同期比6.1%減。顧客の品揃えへの不信感が理由と説明。婦人層が他社の通販ルートに流れたとの見方も。

- ・店頭品切れをカバーする他店からの取寄せ「しまコレ」という新体制は進捗いま一步との評価も。
- ・19年8月の主要業態別売上と昨対（半期）
「しまむら」 2,041億円 95%
「アベイル」 256億円 101%
「バースデイ」 266億円 99% 海外26億円 100%など

【7】ハニーズ

最近決算年商 497.3億円
同営業利益 45億円

次期20年5月予想
売上 500億円
営業利益 50億円

店舗数 865店舗（国内）
海外店舗 0へ
2019年5月

中国の全店舗撤退、清算業務完了。連結売上は減少も利益増大に莫大な効果発揮。

- ・今期（2Q中間、19年11月）では売上2.5%減収も純利ベースでは29%増へ。
- ・業態「シネマクラブ」、「コルザ」も順調。
- ・生産も中国脱却、ミャンマー、バングラ2国で構成比66%へ。
- ・eコマースは22年50億（比率5.3%）狙。

【8】パル

最近決算年商 1,304.7億円
同営業利益 79億円

(次期予想) 20年2月
売上 1,377億円
営業利益 92億円

店舗数 923店舗
2019年8月

直近中間決算（19年8月）で粗利益、営業利益、販管費すべて効率最高値達成。

- ・同中間決算実績
- ・衣料分野 481億円 伸び5% 比率73%
- ・雑貨分野 180億円 伸び1% 比率27%
- ・eコマース半期実績87億円
ZOZO 58億、自社サイト 18億円など

【9】パレモ

最近決算年商 232.7億円
同営業利益 7.0億円

(次期計画) 20年2月
売上 247億円
営業利益 7.5億円

店舗数 480店舗
2019年8月

ファンド企業「エンデバー」に移管3年半、生えぬき吉田馨社長の改革進行中。

- ・19年8月半期売上げ構成
アパレル80.5億（64%）9業態
雑貨 41.3億（33%）5業態
- ・衣料分野ではエレガンスファッションからの離脱を努力。
- ・婦人ラージサイズ展開の一定の効果あり。
- ・雑貨新業態「イルーシー300」軌道に乗るか。
- ・中期計画 2012年目標は売上262億円、営業利益10億円。

【10】アダストリア（ポイント）商品構成見直し効果で特に粗利益率大幅改善

最近決算年商 2,226.6億円
同営業利益 71.9億円

(次期予想) 20年2月
売上 2,230億円
営業利益 120億円

店舗数 1,429店舗
2019年8月

- 次期20年2月決算の営業利益緊急に上方修正へ。
- ・19年8月（半期）の主要業態売上（昨対%）
グローバルワーク 199億（106%）
ニコアンド 104億（104%）
スタディオクリップ 118億（97%）
ローリーズファーム 103億（116%）
- ・海外はアメリカ、韓国、台湾好調。香港、中国は再構築へ。
- ・自社サイト「.st」 会員1,000万人に増加。